

共 催：大阪府医師会・大阪府看護協会・大阪府訪問看護ステーション協会  
主 管：大阪府訪問看護ステーション協会

# 第10回 大阪府訪問看護シンポジウム 2024 人生会議（ACP）と救急

～増え続ける高齢者の救急搬送 どう対応していくのか～

日 時：2024年11月23日（土）14：00～16：15

開催方法：ハイブリッド（申し込みは下の2次元バーコードから）

①集 合：大阪府医師会館 2F(大阪市天王寺区上本町2丁目1-22)（定員150名）  
（受付開始13：30～）

②オンライン：Zoomウェビナー（定員300名）

対 象：行政職員、医師、看護職、療法士、介護支援専門員、介護福祉士、消防・救急関係者  
その他地域で働く専門職の皆様

大阪府内の全救急搬送患者の半数以上を高齢者が占めています。在宅の現場では、心肺蘇生等を望まない高齢者の救急搬送依頼事例もあり、命を救うことを優先する救急隊と患者及び家族、そして搬送先の救急医の間で問題が生じています。今回、人生会議（ACP）と救急をテーマに現場の声を聴くことにより、どの様に連携、対応していったらよいのか考える機会となり、明日からの活動の一助になることを期待してシンポジウムを企画いたしました。ぜひご参加ください。

## 《 プログラム 》

無料

座長：大阪府師会副会長 宮川 松剛

大阪府訪問看護ステーション協会副会長 高澤 洋子

14:10 イントロダクション

『ACPとは』

池永 昌之氏（淀川キリスト教病院 副医務部長 緩和医療内科主任 部長）

14：20～15：10 現況報告

『高齢者の救急搬送について』

大矢 亮氏（耳原総合病院 副病院長 救急総合診療科）

中村 匡志氏（大阪南消防局 警防部 救急課 主幹兼救急管理係長）

八尾 英人氏（社会法人カナン 特別養護老人ホームあんり 施設長）

水取 恵子氏（セコム豊中訪問看護ステーション 統括管理者）

山田美代子氏（社会福祉法人 玉美福祉会

東大阪地域包括支援センター向日葵 センター長）

15:25～ 総合討論

『増え続ける高齢者の救急搬送 どう対応していくのか』

上記発表者による総合討論



←①集合参加の  
申し込み



←②オンライン参加の  
申し込み



お問い合わせ

大阪府訪問看護ステーション協会 事務局  
TEL 06-6767-3800

